

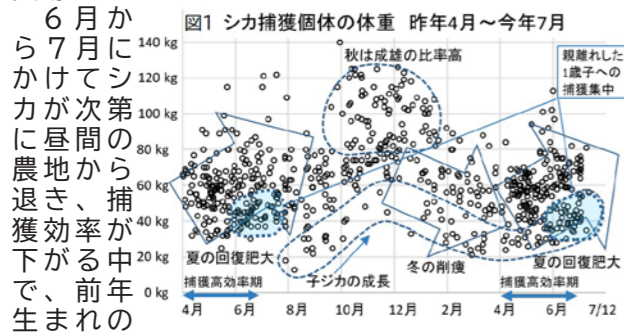


野生動物対策の状況

園農林課林業振興室
野生鳥獣専門員
☎ (56) 2174

エゾシカ

6月の捕獲数は62頭で、3カ月連続で前年同月の数を上回りました。7月も前半でおおよそ20頭を捕獲できており、この時期としてはまずまずです。占冠村ではシカの駆除について毎月の上限などは設定せず、従事者の態勢も年間を通じて概ね同じですが、シカの所在や行動の変化によって捕獲の効率が変動し、それが捕獲数に反映されています。さらに雌雄や年齢、体重(図1)なども季節によって変動しています。



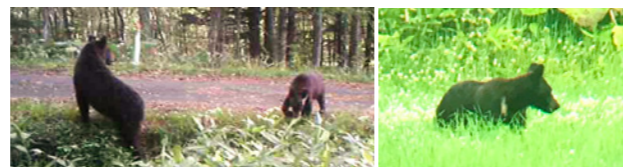
6月から7月にかけてシカが次第に昼間の農地から退き、捕獲効率が下がる中で、前年生まれの1歳子の捕獲が目立つ傾向が生じます。おそらく弟妹ができて母親と離れがちになり、好奇心旺盛で不用心な行動が、捕獲につながってしまうようです。それでもメスの1歳子は母親らしき成メスの近くにいることが多いようですが、オスの1歳子は

同輩や兄貴分と徒党を組み、昼間から畑に繰り出すものもいます。

ヒグマ

例年7月に市街地や道路への出現が増えますが、今年も例にもれません。上トマムでは6月下旬の墓地への出現を皮切りに、以後間を置かず、7月13日現在まで上寮、保育所裏から墓地、カリフリ岳斜面の農地にわたってフキやミズバショウ、アリなどの採食が盛んです。複数個体が入り混じっており、少なくとも親子1組(1歳子2頭連れ)、オス成獣1、亜成獣単独個体1を含んでいます。一方、昨年まで頻発区域だった八戸沢周辺は、現在までは静かです。草刈りや警戒が効いたのでしょうか。

双珠別では採草地で草を食べる若い個体が居ついており、警戒心も薄いようで、先が思いやられませう。



いずれの地域でも巡視や追い払い等の対応を続けています。状況に応じて捕獲も選択します。最新情報は折込み資料にて。皆様には住居周りの管理、野外行動中の注意をお願いします。お気づきのこと、ご心配のことがあればお知らせください。

生涯学習の窓

教育・文化・スポーツのホットな情報をお届けします。

園教育委員会社会教育担当 ☎ (56) 2183

●村営プール開放中!



現在村営中央プール・トマムプールを開放しています。暑い夏を乗り切るため、また、運動不足解消にプールを利用してみませんか?皆さんのたくさんのご利用お待ちしております。

【村営中央・トマム水泳プール】
・開放期間 8月下旬まで(予定)
・開放時間 13時から17時まで
※水温の低下等により予告なくクローズする場合があります
※幼児の利用は保護者同伴でお願いします
※利用の際は大人・子ども問わず水泳帽を着用してください

また、コロナウイルス感染症対策を実施しています。ご利用の際は以下の内容について、ご理解とご協力をお願いいたします。

- ・発熱、かぜ症状のある方は利用をお控えください。
- ・利用の前に手指の消毒や検温にご協力をお願いします。
- ・遊泳中は他の人との距離を十分にとり、大声等を出さないようにしてください。
- ・密集を避けるため、更衣室への入室人数を制限させていただきます。

●暑い日の熱中症にご注意を

熱中症は環境、からだ、行動によるものと考えられます。

原因1「環境」
気温が高い。日差しが強い。急に暑くなった。閉め切った室内。風が弱い。湿度が高い。

原因2「からだ」
高齢者や乳幼児。肥満の方。下痢などの脱水状態。二日酔いや寝不足といった体調不良。

原因3「行動」
激しい運動や慣れない行動。長時間の野外作業やスポーツ観戦。水分補給できない状況。

【予防】
涼しい服装。日陰を利用。

【応急処置】
涼しい場所に避難して服をゆるめ体を冷やす。首、ワキの下、フトモモの付け根を冷やす。水分、塩分補給。

近年増加している熱中症。日常に潜む危険や応急処置など、正しい知識を身に付け、暑い季節を過ごしましょう。

用。日傘や帽子を使用。水分、塩分補給。体調のすぐれない日は無理をしない。

【症状】
めまい。失神。筋肉痛。大量の発汗。吐き気。意識障害。けいれん。高体温。など

◆豆知識◆
天気予報でよく聞く言葉に「猛暑日」「真夏日」「夏日」「熱帯夜」があります。これらは、その日の気温によって定められた気象用語です。

猛暑日 最高気温35℃以上
真夏日 最高気温30度以上
夏日 最高気温25度以上
熱帯夜 夕方から翌朝まで最低気温25度以下

こちら駐在所です

園占冠駐在所 ☎ (56) 2110

夏の海 少しの油断が 事故のもと

- 指定された遊泳区域内で泳ぎましょう
遊泳禁止区域では、急な深みなどがあり多くの危険が潜んでいます。潮が沖に流れていく離岸流もあるので注意しましょう。
- 子どもから目を離さないようにしましょう
波の力で倒れたり、沖に流される危険があります。保護者の方は、水辺で遊ぶ子どもから目を離さず、近くにいるようにしましょう。
- 体調不良時や飲酒後は泳がないようにしましょう
体調不良時やお酒を飲んだあとは、呼吸が乱れやすく溺れる危険があるので泳がないようにしましょう。
- 釣りをするときは、必ず救命胴衣を着用しましょう
高波時の防波堤や滑りやすい岩場、流れが速い岸辺などには近づかず、安全な場所で行いましょう。

●水上オートバイは遊泳区域に入らないようにしましょう
危険な運転はせず、かならず救命胴衣を装着して安全な航行に努めましょう。

